



みなかみ中学校2年生27名が台南市を訪問し、同世代と交流

中学生海外派遣事業 12/21 ~ /25

みなかみ中学校の2年生27名と引率者8名が台南市（台湾）を訪問しました。今回で8度目となる中学生海外派遣事業では、参加した生徒が、台南市の同世代との交流により、相互理解を深めるとともに、異文化を見聞しながら、国際的な視野を広げることを目的としています。



▲台南市の位置
人口約185万人、昔から政治・経済・文化の中心地です。

●海外派遣に向けた事前学習と準備

参加した生徒は、事前準備として10月末から始まった全6回の学習会に出席し、英語によるコミュニケーションの練習や、台南市の歴史・文化・生活習慣などを学びました。また、現地の崇明中学校で披露する校歌の練習も重ね、派遣に臨みました。

●崇明中学校での交流

今回、崇明中学校に新しい校長先生が着任されたことを受け、阿部町長も海外派遣事業に同行し、生徒たちと共に交流を深めました。崇明中学校では、民族楽器の演奏や、英語での学校紹介が行われました。崇明中学校の生徒の流暢な英語と堂々とした振る舞いに、国際語である英語の大切さを改めて認識することができました。

その後は、カルメ焼きや扇子作りなど、崇明中学校の生徒と台湾の伝統文化に触れる体験学習を行ったほか、みなかみ中学校生徒からは校歌を披露するなど、生徒同士の親睦を深めました。



▲崇明中学校長と阿部町長

▲崇明中学校出迎え



▲崇明中学校でみなComing体操



▲台南市長と記念撮影

●台南市政府訪問・大学生との交流・名所見学

別日には、台南市政府への訪問や食品工場見学に参加しました。工場見学では、台南市長にも同席していただくなど、親身で行き届いた対応のおかげで、心温まる時間を過ごすことができました。

また、みなかみ中学校を卒業し、現在台中市の大学へ留学している学生との交流や、台北市での故宮博物院、忠烈祠、九份などの名所見学も、多くの学びを得る経験となりました。



▲九份を見学

●貴重な経験を得た海外派遣

今回の派遣事業では、文化や生活習慣の異なる海外において、みなかみ中学校の生徒が現地の同年代と積極的にコミュニケーションを図りながら、学びある経験を得ることができました。これらの経験が参加した生徒それぞれにとって、今後の成長に活かされることが期待されます。



町内の公職者が一堂に会して新春を祝う

新年賀詞交歓会を開催 1/9

みなかみ町カルチャーセンターにおいて、令和8年みなかみ町新年賀詞交歓会が開催され、100人を超える方々にご参加いただきました。同会は、町内の公職者が一堂に会して新春を祝う毎年の恒例行事です。

式典では、主催者の阿部町長、小林議長が新年の挨拶を行い、その後、ご来賓の国会議員等の皆さまからご祝辞をいただきました。

また、20周年記念セレモニーの映像上映や、ふる里みなかみ親善大使のなつこさんによる町歌『ふる里「みなかみ」』などが披露され、式典は一層盛り上がりました。



▲田村教育長による万歳三唱



▲阿部町長の新年の挨拶



▲20周年記念セレモニー映像上映



▲なつこさん



短い言葉の中に深い情景や感動を込める

みなかみ町俳句短歌大会 12/21

教育委員会生涯学習課では、第6回みなかみ町俳句短歌大会を開催し、俳句は27人123句、短歌は51人241首の投稿がありました。

表彰式は12月21日（日）に中央公民館で行われ、上毛俳壇選者の林桂先生による講話「『群馬百人一句α』からみなかみを詠んだ俳句」が行われました。



▲表彰式



▲林桂先生による講話

- ◆俳句の部
- 最優秀賞（二句）
今日も干す大根に日の匂ふまで
平井登志絵
- 優秀賞（二句）
無器用に生きて老後の菊づくり……
阿部伊亨
岳からの風すぢ抜ける稲架襖……
林恵美子
- ◆短歌の部
- 最優秀賞（二首）
売られたる子牛を呼びて親牛は梅雨の一夜を鳴き明かすなり
菜花
- 優秀賞（二首）
妻に云う最後の「嘘」になるだろうもうすぐ家に帰れるからな
石崎正次
一つずつ七つの色を言えるほど美しき虹立つ秋の夕暮れ
角田勝子



更生保護・社会復帰をサポート

保護司に丸山浩文さんを委嘱 12/1

丸山浩文さん（高日向）が、保護司に委嘱されました。保護司は、保護司法に基づき、法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員です。

犯罪や非行をした人に対して、生活上の助言や就労の援助を行い、社会復帰をサポートするなど、社会的に非常に重要な役割を担っています。町内では、6名の保護司が活躍されており、更生保護諸活動にご尽力いただいています。



▲丸山浩文さん

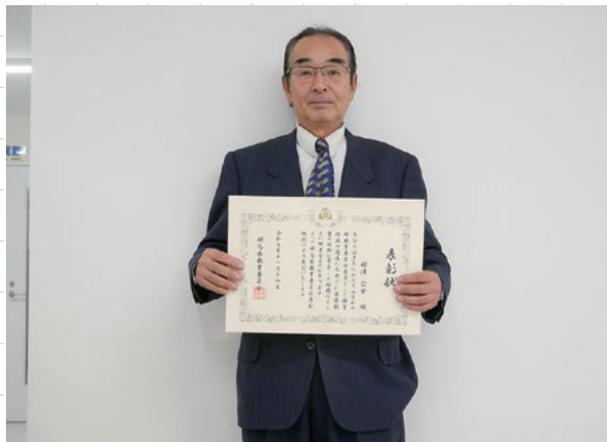


教育行政の推進に貢献

根津公安さん教育行政功労者表彰 11/14

群馬県教育委員会による「群馬県市町村教育行政功労者」に、みなかみ町教育委員の根津公安さんが選ばれ、受賞されました。

根津さんは平成24年に教育委員就任以来、長きにわたり町の教育行政に多大な貢献をされました。中学生海外派遣事業では複数回団長を務め、現地視察や交流活動を成功させ、多くの中学生に異文化交流の貴重な機会を創出しました。



▲根津公安さん



一年間の無火災、無災害を祈念

みなかみ町消防出初め式 1/11

月夜野総合体育館において、みなかみ町消防出初め式が挙行され約150人が参加しました。出初め式は、一年間の無火災、無災害を祈念するとともに、消防団員が一致団結し、心新たに消防活動を行えるよう毎年開催しています。



▲整列した消防団員



「親あるあいだ」に地域みんなで考える

親なきあと講演会を開催 12/20

将来のためのお金の準備、障がいや生きづらさを抱える方が利用できる制度など、行政書士の講師からの「親なきあと」をテーマとした様々なお話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

講師の「いざとなったらどうにかになります。でも孤立だけは避けるように！」の言葉に、孤立しない・孤立させない地域づくりの重要性を参加者一同再確認しました。



▲障がい児者家族や支援者など40名以上が参加



地域おこし協力隊の活動

一般社団法人FLAP 千野 泰平 さん

こんにちは。一般社団法人FLAPに所属し、後閑駅ナカ学習室の運営に携わっている千野泰平です。昨年、家族5人でみなかみ町に移住してから、まもなく1年が経ちます。この1年で特に印象に残っているのは、月夜野神社祇園祭への参加です。私と長男は人生で初めて神輿を担ぎ、娘たちは万燈で笛を吹かさせていただきました。家族全員で祭りに参加できた経験は、今でも忘れられない大切な思い出です。

また、田んぼや畑のお手伝いをするなかで、地域の暮らしや自然との向き合い方を学びました。地域の方々から声をかけていただき、仕事の経験をさせてもらう機会もありました。「声をかけてもらえた」その出来事が、大きな支えとなっています。

私の主な活動である後閑駅ナカ学習室の運営では、利用する学生たちの声をもとに改善を重ねてきました。昨年の夏には、町内在住のITコンサルタントの方を講師に招いたイベントや、学習室の卒業生による大学生生活体験イベントも開催しました。参加した学生同士の交流も生まれ、とても有意義な時間となりました。今後も地域の一員として学び続けながら、少しずつ恩返しにつながる活動を続けていきたいと考えています。



▲大学生生活体験イベントの様子



▲ITコンサルタントの講師の話を熱心に聞く学生

まちづくり協議会だより 第80号

問 まちづくり協議会事務局（企画課）

☎ 0278（25）5030

茅原花づくり事業～花植えを通じてつながるコミュニケーション～

まちづくり協議会に参加して早くも3年目になります。これまでは趣味として楽しんでいたガーデニングですが、まちづくり協議会の活動を通じて行うようになってからは、花植えがコミュニケーションツールの一つであることを実感しています。

総務省の令和3年「社会生活基本調査」によると、過去1年間に趣味・娯楽の時間として「園芸・ガーデニング・庭いじり」をした10歳以上の人の割合は、群馬県が32.8%で全国トップであることが公表されました。

みなかみ町でも花植え活動が盛んに行われていますが、各地域や個人で行われている活動が、まちづくり協議会を通じてつながり、横断的なコミュニケーションが生まれることで、地域の活性化につながると期待してい

ます。そんな“花の魅力”を町民の皆さんに伝えられるよう、これからも活動に力を入れていきたいと思います。

まちづくり協議会新治支部
茅原地区 吉村 絹江



▲茅原花壇